



相原 章会長 尾崎 康幹事



第2770地区 第1グループ

浦和中ロータリークラブ

2020-2021 クラブターゲット

「発見、創造、魅力あふれるクラブに！」

ー組織を創る 仲間を創る 明日を創るー



ロータリーは
機会の扉を開く

今日の例会

10月1日(木) 第1424例会

例会時間：19：00点鐘

例会場所：さいたま商工会議所会館4階特別会議室

卓話者：一般財団法人日本エネルギー経済研究所

中東研究センター 研究主幹 吉岡明子様

テーマ：『中東情勢を理解するために』

次回の例会

10月8日(木) 第1425回例会

例会時間：19：00点鐘

例会場所：さいたま商工会議所会館2階第一ホール

卓話者：会員卓話 小嶋敏夫会員・小島 昇会員

テーマ：『ロータリーを続けている理由、その魅力①』

会長挨拶

会長 相原 章



皆さんこんばんわ。9月第4例会にご出席いただきありがとうございます。本日はロータリーの友の理事、恵川一成様をお迎えしての卓話例会となります。また第17期平和フェローの竹之内千秋様にもお越しいただいております。それから浦和ダイヤモンドロータリークラブの吉野幹事様、吉野様のご紹介で市塚様様にお越しいただいております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて皆さん、福島県との県境にある茨城の五浦海岸という場所をご存知でしょうか？五つの浦と書いて五浦海岸。ここに太平洋を一望できる絶景温泉があります。同じように五つの浦と書いて「いつらおんせん」この温泉は、泉質がどうのこうの、というよりこの温泉のロケーションがとにかく素晴らしいんです。太平洋の大海原を眺めながら露天風呂に入っていると、まさに地球の体液に浸かっているような、地球と一体になれる、そんな温泉です。

この五浦の地に居を構え、世界に東洋の思想、文化を発信したのが「岡倉天心」です。歴史の教科書でその名前くらいはご存知かと思いますが、彼は日本美術史研究の開拓者、第一人者です。詳しくは「ロータリーの友8月号」をご覧ください。我がクラブの雑学王にお聞きください。

さて天心はこの五浦で2つの業績を残しました。

「六角堂」の建設、「茶の本」を著したこと、

これらはインド、中国、日本をつなぐ、共通性を表した作品となっています。この六角堂にこもって、天心は大海原を前に思索を続けたのです。人生という大海に適切に自らを合わせるの「永遠に向かって反転してゆく大波に歓喜と美がある」「風そのものに御しなさい」「波の精神に入り込みなさい」と。どうですか！全くわかりません。何度読んでも理解できません。大変恐縮ですが、この記事について解説記事という注釈でも結構ですのでもう少し平易にわかりやすく教えてほしいと思います。

それはともかくとして、天心の類まれなる才能とキャラクターが五浦という地のエネルギーと化学反応を起こした結果が六角堂と茶の本となって残されたのだと思います。つまり五浦という場があってこそ天心だったということです。このように、人と土地に限らず、人とモノ、人と人が出会い、ぶつかり、重なりあった時に化学変化が起こり、新しいものが生み出されるのだと思います。身近な例を挙げれば、横田委員長とICT技術が会って、中クラブは地区でも1, 2を争うICT先進クラブに変貌しました。このように「出会い」というのは人の人生や社会の変化に大きく影響を与えるのです。そんな素晴らしい教訓を「ロータリーの友」は教えてくれます。それでは「ロータリーの友」のコマーシャルも終わったところで、本日も一緒に勉強していきましょう。

リモート出席者



アフィカさん(米山学友)

伊田賢一 会員

小山祥史 会員

ビジター紹介



帰朝報告をする
平和フェロー竹之内千明様
※ 報告文は次週配付



浦和ダイヤモンドRC吉野幹事
オブザーバーの市塚 様

幹事報告 幹事 尾崎 康

- ・地区役員推薦のお願いが届いています。
- ・職業奉仕部門講演会(夜話会)
10月30日(金) 17：00開演(パレスホテル大宮)
- ・各部門セミナー(リモート 会長・担当・新会員)
9/26(土)米山記念奨学部(会長・尾崎)



■『日本のロータリー100年に関わる「ロータリーの友」の歴史的考察』

ロータリーの友理事 恵川 一成様（大宮シティRC）

「ロータリーの友」の名前 ⇒ 【主婦の友】からヒント
（遠藤健三氏提案の『ロータリーの友』に決定）



ロータリーの学びは工事中 完成はない！

ロータリーの会員が減少しておりますが、理由はいろいろかんがえられますが、大きな要因の一つがロータリーの良さや、魅力を知らない会員が多くなってきているように思います。ロータリーは大きく変わってきました。一業種一人、男性しか入会できなかった時代から今は女性、家庭の主婦でも入会できるようになり、誰でも入会できるようになってきました。それなのに何故会員が減少していくのでしょうか。ロータリーを知らない、学ぼうとしない、学び方を知らない、ロータリーの魅力を知らずに退会してしまう会員が多くなってきています。また、ロータリーの本質は変わっていないと思いますが、価値観が変わってきているのかと思います。このギャップを埋める最良の方法は「学び」です。学ぶ楽しさ、重要さは誰でも知っております。しかし行動が伴わないのが実情ではないでしょうか。過去を知り、現在を知り、未来を学ぶ、この学びによって価値観の違いやギャップを浅くし理解しあうことができると思います。

ロータリーの誕生 1905年2月23日 シカゴRCの誕生

いまから約114年前当事のアメリカは経済恐慌で人の心はすさみ、犯罪は巷にみちていたシカゴで、青年弁護士ポールハリスはよい社会をつくるために、人の和を図り、世の中に奉仕する気持ちを多くの人が持つようになることが大切だと考え、3人の友と語り、1905年2月23日日に第1回の会合をもちました。1908年には2番目のロータリークラブがサンフランシスコにつくられ、1910年には国境を越えカナダ、英国へと国際的に広がりました。

ロータリークラブ数・会員数 1997年3月末（平成9年）

全世界 155ヶ国 518地域 28,284クラブ 1,193,681名
日本 34地区 2,224クラブ 130,274名
2770地区 78クラブ 3,923名

2020年6月末現在

日本 2,238クラブ 85,243名
2770地区 74クラブ 2,415名

「ロータリーの友」（購読の義務）

50円 1953年1月～ 定価
100円 1962年12月まで
110円 1963年1月～1974年12月
200円 1975年1月～

日本のロータリー（東京ロータリークラブの誕生）

日本のロータリーが、いつ、どんなかたちで生まれ、どのような育ち方をしてきたのか、それらの事実を知ることによって、これから進むべき道を探るためにも、草創期の時代背景などを確かめることが肝要と心得ます。米山梅吉氏の1回目のダラス行きは（1917年）大正6年10月15日に日本を出ていますが、その行程の中で、ニューヨークがワシントンからダラスに行き、大正7年の元旦に、三井物産の福島喜三次氏の家を訪ねています。その時、福島氏はダラスRCのメンバーであり、米山氏にロータリークラブの事を話され、ダラスRCの例会に出席されたわけです。このことは、福島氏のご夫人がロータリーの友（昭和38年11月号）にダラス時代に米山氏が訪ねてきた時の話をしている、「例会にゲストとして御招待したことがございます」といっています。ダラスを訪ねたときに、福島氏と米山氏がダラスロータリークラブの話をし、それを聞いた米山氏が共鳴して帰ってきてロータリーの設立に走ったのではないのでしょうか。1920年（大正9年）10月20日 創立総会 東京RC誕生 会長 米山梅吉・幹事 福島喜三次 チャーターメンバー 24名 1921年4月1日 国際ロータリー加盟承認 855番目

大阪RCの誕生

三井物産の福島氏が大阪に転勤になり、加島銀行、大同生命の重役の星野行則氏が出合います。星野氏は翌年1922年春、渋沢栄一翁の肝いりで西洋視察団すなわち「英米訪問日本実業団」の一員として加わりそこには東京RC初代会長の米山梅吉氏が参加しておりました。長期間の視察中 星野氏は米山氏からレクチャーを受け、この渡米時シカゴ本部を訪れ、当時のペリー幹事と面談して、大阪での設立に関し全権委嘱を受け帰国。その秋11月17日 25名で大阪RC創立総会を開催、翌年正式にRIから加盟認証を頂きます。

関東大震災

東京RC設立の喜びも束の間、関東大震災時、東京RCに対し、RI本部から会長ガイ・ガンデガー氏から見舞い電報と共に25,000ドルをシカゴRCから15,000ドル・サンフランシスコRC・ニューヨークRCから1,000ドルその他、米英加をはじめ世界30ヶ国、503のRCから 89,000ドル（現在に換算すると約140億円）の義援金寄せられ東京RCが破壊しているので大阪RCに送られました。アメリカは、フィリピン・マニラ湾に碇泊中の海軍軍艦に、医師団、看護婦、医薬品、食料、建築資材などを満載し、地震発生後僅か60時間で横浜で活動され、目にした我が国ロータリアンは勿論、一般市民も心から感謝され、この時アメリカ海軍の救援隊の指揮を執っていたのが後のGHQの総司令官ダグラス・マッカーサー元帥の青年士官姿であった。一年前に創立した大阪RCには福島さんという米国でのロータリーの経験者で英語が練達の士が幹事としてに居られ、三井物産自身の救援事業の仕事と併せ、想像に絶するものがあります。全世界よりの見舞への礼状も一々自分で英文で書いて居られたほどです。日本のロータリー最初で最大の奉仕活動だった。大阪ロータリーの活動は、それまでロータリーとは如何なるものか馴染みの薄かったロータリーが知られる様になり、世人より感謝と理解させられる結果となった。これを機に、日本のロータリーは、震災の翌年8月に神戸RC、12月に名古屋、14年9月に京都、昭和2年6月に横浜と急激に全国にRCが結成されていった。



「編集後記」 我クラブより平和フェローとして派遣している竹之内さん、久しぶりの帰朝報告。一回りも二回りも立派になって、とても嬉しく思いました。折角ですので、割愛することなく全部載せますので是非熟読下さい。（T・K）

会長：相原 章 会長エレクト・幹事：尾崎 康 クラブ管理運営・プログラム委員長：三島 泉
親睦委員長：市川浩正 会員研修委員長：辻村浩司 研修リーダー：小谷野英一 公共イメージ向上委員長：小嶋敏夫
出席報告 9月24日（木）第1423回例会

会員総数(免除)	40(5)名	本日の出席率	80.00 %
出席算定	28/35	メイクアップ	2
本日の出席	26		

例会日：毎週木曜日 19:00～20:00
例会場：さいたま商工会議所会館2階 第1ホール
事務局：さいたま市浦和区高砂3-17-15
さいたま商工会議所会館7階
TEL:048(838)7740 FAX:048(838)7741
ホームページ http://urawa-naka-rc.org